

MORI MORI PRESS

2014 vol.35

モリモリアレス

森田としかず(前埼玉県議会議員)

昭和49年9月熊谷市久保島生まれ
 広瀬保育園、熊谷市立玉井小・中学校、埼玉県立熊谷高校、
 早稲田大学政経学部、カナダ・マギール大学留学、
 早稲田大学大学院博士課程を経て…
 28歳・県議選初挑戦(23票差で次点)
 30歳・訪問介護事業開始 32歳・県議選初当選
 33歳・介護施設上川原んち開設 36歳・県議選2期目当選
 38歳・衆議院議員選挙初挑戦(55,6票で次点)

〒360-0831 熊谷市久保島 1003-2
 tel.048-530-6001 fax.048-530-6002

morimorita 森田俊和

モリモリアレスとは!?

森田としかずのビジョンや政治に対する思い、地域活動の記録などを皆様にお伝えする広報紙です。
 ※バックナンバーはホームページからダウンロードしていただけます。



～来るべき災害への備え～ 大雪被害への対応を振り返って

青々とした若葉が目まぶしい季節となりました。暖かくなってから雪のことを書くのも気がひけますが、落ち着いてきた今だからこそ、整理しておくことが次への備えとして必要なのではないかと、思います。今回、県内では最も被害の大きかった秩父地方。その秩父地方の県道や3桁国道を管理する秩父県土整備事務所を訪れ、酒巻所長(3月当時)にお話を伺いました。以下、所長からのお話を元にして、大雪の被害とその対応、課題についてまとめてみました。

■被害当日からの初動～除雪完了まで

降雪が始まったのは2月14日(金)。予報は前の週の降り方よりは軽い、あるいは雪から雨に変わる見込み、との報道がなされていました。秩父県土整備事務所では、災害への対応という意味で所長や当番の方が泊まる段取りをしました。翌朝、結局予報に反して積雪は前の週よりも多い98cm。雪が止んでも身動きがとれない、という状況が発生しました。県土整備事務所前は車も人も通れない状況だったそうです。その後、日曜の午後になって、リュックを背負った人々が大雪を押し出して道を歩いている光景が映画のようだった、と酒巻所長は回想しています。

ただ、何も動いていなかったわけではありません。既に降り始めの14日から県と契約を結んでいる建設会社33社が除雪を開始していました。ただ、圧倒的な雪の量に懸命な作業も焼石に水。道路が



地元の業者の方による懸命な除雪作業

各所で雪により通行が難しくなっていました。秩父市では市長さんはじめ職員さんも登庁することができず、結果として初動が遅れることとなってしまいました。交通が寸断されたために、県土整備事務所の職員の方も帰宅あるいは通勤ができず、近隣に住み、歩いて通勤できる職員さんが出勤し、泊まり込みで勤務を続けたとのことでした。所長さんご自身も帰宅できず、6連泊の勤務になったとのことでした。

市街の幹線道路はもちろんのこと、トンネルに閉じ込められた方の救援活動など、地元業者の方々の懸命な作業により、最終的には3月初頭にほぼ秩父地域内の除雪作業は完了しました。

■苦情、要望

除雪が進まないということで、市民の方から多くの除雪

👁️ 目で見る地域に根ざす活動記録



玉井小学校卒業式

【3月24日】小学校の卒業式にPTA会長として参加しました。このほかにも、中学校や保育園の卒業式、卒園式に出席させていただきました！今後のご活躍を!



野球連盟開会式

【3月30日】熊谷市野球連盟の開会式が、さくら運動公園で行われました。電光掲示板の設備が更新され、新たな気持ちでシーズンスタートです!

活動報告



街頭にて
各地にて(熊谷→行田→羽生→加須) 3/23



座談会
熊谷市妻沼小島地区小林様にて 3/27